

### 第3回 鳴瀬川総合開発環境検討委員会 技術的助言

日時：平成31年1月10日(木) 10:00~12:00

場所：TKP 仙台南町通カンファレンスセンター(8階) ホール8A

#### 1. 個別的事項

##### (1) 騒音及び振動

意見なし

##### (2) 水環境

NO	意見	回答及び対応方針
	水質予測の計算方法及び結果の妥当性について、再度の確認をお願いしたい。	頂いた意見を参考に、専門家より指導・助言を得ながら適切な対応を確認、相談した上で進めていく。
1	漆沢ダムの濁りについて、下流河川の生物に対する影響が、定性的な表現になっている。より定量的な表現とすることは難しいのか。	漆沢ダムの濁りとしては、25mg/Lの環境基準値があり、ダム直下では200mg/Lを50mg/Lまで低減でき、その影響は下流2km区間に影響する。筒砂子川合流後の下流地点では25mg/L以下まで低減できている。モニタリング調査をしながら、適切な対応を行っていきたい。
2	環境保全措置として実施する漆沢ダムの土砂撤去はいつ頃どのように行うのか。濁りの影響も考えられるので、詳細な方法はないのか。	下流への濁水対策を講じながら施工することになるが、詳細は決まっていない。 今後、別の検討委員会等を立ち上げて検討を行っていくことを考えている。
3	筒砂子ダムでは選択取水により富栄養化現象に対する環境保全措置を行うことでクロロフィルaは低減される結果が得られている。しかし、漆沢ダムでは、植物性プランクトン由来のかび臭が発生していることを考えると、筒砂子ダムでも発生する可能性がある。アセスでの対応としては、この検討内容でも十分であろうと評価できるが、供用後を見越した対応が必要ではないか。	今後、管理に向けた検討の中で適切に対応していく。

(3) 動物、植物及び生態系

NO	意見	回答及び対応方針
1	<p>環境保全措置と併せて実施する対応について、改変部からの避難を促すような周知・指導の実施とはどのように行うのか。</p> <p>事業実施に伴う改変率が低いとしても、哺乳類にとっては影響がある。冬期に非活動的になる種に対応して、冬季に工事を控えることや工事実施にあたって一定方法で後背地に向かって工事を進めていくなどの配慮が望ましい。</p> <p>試験湛水の時期によっては冬眠する種が影響を受ける可能性があるため、きめ細かな対応をして頂きたい。</p>	<p>頂いた意見を参考に、専門家より指導・助言を得ながら適切な対応を確認、相談した上で進めていく。</p>
2	<p>ダム供用後、漆沢ダム下流で25℃以上になる予測結果であるが、冷水性のサクラマス等が生息しているので影響があると思われる。事後調査等で配慮が必要ではないか。</p>	<p>配慮事項としてダム下流河川の生物の監視を行う。</p> <p>また、水温についても、ダム下流河川でモニタリング調査を行っていく。</p>

(景観)

NO	意見	回答及び対応方針
1	<p>原石山の緑化で成功したところ、失敗したところがある。本事業では失敗の無いようにしてもらいたい。</p>	<p>専門家の指導・助言を頂きながら、失敗のないよう適切に対応していく。</p>